



ESPAセミナー第9回

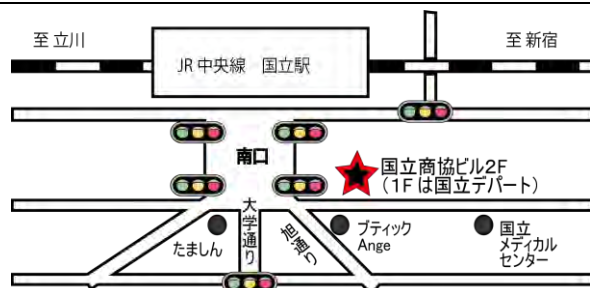
重い障害のある人のコミュニケーションを考える

日時	平成 27 年 6 月 28 日(日) 9:50~16:30 (受付 9:30~)
-----------	---

プログラム	
10:00-12:00	障害の重い子どもとの教育的係わり合いにおいて大切にしたいこと 岡澤 慎一 先生 ●宇都宮大学教育学部 准教授
12:00-13:00	お昼休み
13:00-15:45	介護者の感度アップがコミュニケーションを豊かにする ~コミュニケーション支援の基礎から ICT 機器を用いた実践まで~ 下川 和洋 先生 ●NPO 地域ケアさぼーと研究所・女子栄養大学非常勤講師
16:00-16:30	質疑応答

参加費	6,000 円
------------	---------

会場	国立商協さくらホール (JR中央線国立駅徒歩2分) 東京都国立市 東 1-4-6
-----------	--



定員	70 名 (テーマに関心のある方どなたでも) ※定員になり次第締めさせていただきます。
-----------	---

主催 お問合せ	ESPA 有限責任事業組合 (エспа有限責任事業組合) http://www.ac.auone-net.jp/~espa-llp/ E-mail espa-llp@ab.auone-net.jp
--------------------	--

お申し込み	先着順 裏面をご覧ください。
--------------	----------------

- * 内容につきましては、やむを得ない事情で、変更する場合がございますことをあらかじめご了承ください。
- * 机がございませんので、クリップボードをお持ちください。
- * 16:50 より、ESPA メンバーと講師が希望者の方とご一緒に、いろいろ語り合う茶話会 (ESPA と語ろう会) を予定しています。

お話などをもっと詳しく聞きたい、参加者やメンバーと話したいという方はぜひご参加ください。



📎 申し込み方法について

できる限りメールにてお申し込みください。✉

E-mail espa-llp@ab.auone-net.jp

- ① FAX の場合は、記入事項を明記し、送信票をつけずにこの用紙のまま、お一人 1 枚で、お申し込みください。
送付先は、FAX 03-5389-0891 新田宛
- ② 申し込みをされた方には、後ほど【受付番号】と詳細な通知をお送りいたします。
- ③ 申し込み期限は **6月15日(月)** といいたしますが、お早めのお手続きをお願いします。
- ④ 会場の都合上、申込者が予定人数に達しました段階で、お断りさせて頂くことがございます。

📎 記入事項はこちらです。

お名前、所属、職種、ご連絡先（時間などの指定もあれば）は必須でお願いいたします。

件名：ESPA セミナー第9回（6/28）の参加を申し込みます。				
①所属		ご 連 絡 先	④住所 〒 _____	⑧ESPA と語ろ う参加希望欄 ○をつける 希望します 希望しません
②職種			⑤電話	
③ふりがな お名前	()		⑥FAX	
			⑦E-mail	
⑨講師へ の質問				

一週間以内に返信が送られてこない場合には、**FAX (03-5389-0891)** または

E-mail espa-llp@ab.auone-net.jp までお問い合わせをお願いします。

🎯 今回のセミナー企画意図 🎯

<企画意図と講師紹介>

ESP セミナーでは毎回、障害のある方達への支援について、参加される皆様とともに考えて参りました。今回は『重い障害のある人のコミュニケーションを考える』と題し開催致します。

重い障害のある人達が安定した健康状態を維持するために、医療、看護の知識の普及や支援者のスキルアップ努力が、多方面でなされています。その上で日々の営みにおいて、一人一人の心の動きや感じ方、思いなどを、ご家族や支援者の皆さんが受け止め、言葉で、表情で、あるいは様々な生活活動で返していくことが、障害のある人が豊かな生活を送る基本となることでしょう。

午前の部の講師、岡澤慎一先生は現在、宇都宮大学教育学部准教授でいらっしゃいます。特別支援教育に関わる教員養成の仕事とともに、大学院の頃から継続して重症児との教育的係わり合いについて、長年実践研究を重ねて来られました。重い障害のある子どもや成人の方々との相談活動に基づき、

障害状況にある人とのやりとりやコミュニケーションのあり方、人やモノとの相互交渉の促進に関する長年の実践研究をお話し頂きます。

午後の部は下川和洋先生にお話し頂きます。下川先生は特別支援学校教員として、重症児や病気療養児、医療的ケアが必要な子ども達の教育に関わって来られました。現在は特別支援学校のほか、児童発達支援事業所、生活介護事業所、大学などで非常勤として活動するとともに、NPOでは学校卒業生を対象にした「訪問カレッジ」の学習支援員など多方面で活躍されています。今回は重症児者のコミュニケーション支援における配慮などの基礎的な話から、実際に訪問カレッジ等で行っている iPad やパソコン（マイクビー、伝の心、オペレートナビ）やレッツチャットなどを用いた実践事例の紹介をして頂き、その場での実演も予定しております。

お二人の講師のお話は、セミナーにご参加下さる皆様の明日からの業務に役立つことと存じます。多くの方々のご参加をお待ちしております。